

化学・材料系技術者または知財担当者のための

進歩性欠如の拒絶理由通知への対応ノウハウ

日時
2013年 12月6日(金)
13:00~17:00

会場 産業科学システムズ会議室(東京都千代田区富士見1-5-1)

講師のことは

審査官は特許・実用新案審査基準(以下「審査基準」)に沿って審査します。進歩性欠如の拒絶理由が通知された場合、「審査官が審査基準に沿って審査した結果、進歩性なしとの結論に達した」ということを意味しています。したがって、これに対抗するためには、「審査官が進歩性の有無を判断するときの思考フロー」を理解し、この思考フローに沿って審査官が審査した場合に進歩性ありと判断せざるを得ないように、必要に応じて本発明を補正し、意見書によって意見を述べるのが重要です。

しかし、審査基準には上記の思考フローが示されていません。また、審査基準は分かり難いため、これを読み解いて上記の思考フローを見出すことは用意ではありません。さらに、審査基準は思考フローを構成する重要項目であるにも関わらず詳細説明がなされていないものがあり、これが理解をさらに困難にしています。例えば、審査基準には「引用発明と比較した有利な効果がある場合は進歩性の存在を肯定的に推認する」と記載されていますが、「有利な効果とはどのような効果か」は説明されていません。

本セミナーで説明することは、大きく2つです。1つ目は「審査官が進歩性の有無を判断するときの思考フロー」です。2つ目は「そのフローに従って判断した場合に進歩性ありと判断せざるを得ないように、補正書・意見書によって誘導する方法」です。これらについて、化学・材料系技術分野の具体例を挙げて説明します。

《特典》今回受講お申し込みの方々には、講師の著書「技術者・研究者のための特許の知識と実務」(秀和システム、2011年8月出版)を、お一人1冊ずつ進呈いたします。

税込受講料

1名 44,100円
2名以上1名 39,900円

案内図



飯田橋駅下車 各徒歩約5分
JR中央線(緩行線)
地下鉄東西線(A5出口)
地下鉄有楽町線・南北線(A4出口)
都営地下鉄大江戸線(A4出口)

<お申込要項>

- ・参加ご希望の方は、HP・E-mail・FAX電話、何れかにてお申込ください
- ・お申込に際し、社名・部署名・受講者名住所・連絡先(TEL・FAX・E-mail)をお知らせください
- ・お申込次第、受講票・請求書等を発送します。受講料のお支払は銀行振込・当日持参のいずれかをお願いします
- ・受講料のお支払は基本的に前日までをお願いします。(遅れる場合は、ご一報ください。対応致します)
- ・開催日前14日以降のキャンセルはお受けできません
- ・受講者数が開催基準定員に満たない場合は中止になります。

講師 エース特許事務所共同代表 弁理士・技術士 高橋政治氏

・基礎知識の確認

拒絶理由における進歩性欠如の位置づけ、新規性と進歩性の関係など、進歩性を理解するうえで必要となる基礎知識を確認します。

・審査官が進歩性の有無を判断するときの思考フロー

思考フローを説明した後、この思考フローを構成する各部(動機づけ、阻害要因、有利な効果、寄せ集め等)について、具体例を挙げて詳しく説明します。

・「進歩性あり」と判断せざるを得ないように補正書・意見書によって誘導する方法

拒絶理由通知を受領したときに検討すべきことを説明し、その検討結果に基づいて、補正書、意見書をどのように構成すべきかを説明します。また、包袋禁反言を考慮した意見書の書き方も説明します。

・化学・材料技術分野に特徴的な実務

数値限定発明、パラメータ発明等の化学・材料技術分野に特有な発明について、進歩性を主張するうえでの注意点、実験成績証明書の使い方等にも言及します。

・事例・演習

・質疑応答

お申込・お問合せは

主催 ISS 産業科学システムズ
<http://www.ebrain-j.jp>

TEL (03)3264-5635 FAX (03)3264-5675
E-mail: education@ebrain-j.com

セミナー申込書 FAXは 03-3264-5675

セミナー申込書 「進歩性欠如の拒絶理由通知への対応ノウハウ」

セミナーコード

1101-131206

太枠内をご記入の上FAX (03-3264-5675) してください。

2013/12/6 ISS

社名	所在地	〒	電話	()
No.	所属部課(正式名称)	氏名	E-mail アドレス	-
				()
			FAX	-
窓口部署			通信欄	
セミナーをお知りになった媒体を○で囲んでください パンフ はがき Eメール ホームページ 検索サイト() その他				